

## 東武庫部落有文書概要

1: 文書群番号	075007
2: 文書群名	東武庫部落有文書
3: 出所	東武庫村
4: 家業・役職等	-
5: 地名	摂津国武庫郡東武庫村／兵庫県武庫郡東武庫村／武庫郡武庫村東武庫／尼崎市東武庫／尼崎市武庫元町ほか
6: 行政区分	幕府領／尼崎藩領／兵庫県第8区／常吉組戸長役場／武庫村／尼崎市
7: 歴史	<p>市域北西部に位置する。近世初頭は武庫と称し、その史料上の初見は1605年「慶長十年摂津国絵図」。天和・貞享年間（1681～1688）「尼崎領内高・家数・人数・船数等覚」もしくは1702年（元禄15）「元禄郷帳」のころから西武庫と区別して東武庫と称した。</p> <p>近世初期には幕府領、1617年（元和3）尼崎藩領となった。村高は「慶長十年摂津国絵図」に185.187石、「元禄郷帳」「天保郷帳」に278.791石とある。また、前記「尼崎領内高・家数・人数・船数等覚」には家数27軒、人数122人、1788年「天明八年御巡見様御通行御用之留帳」には25軒、137人とある。</p> <p>水利は武庫井組に属した。氏神は須佐男神社（近世には春日大明神・牛頭天王の相殿）。</p>
8: 伝来	市史編集室が調査済みであった本文書群を、昭和50年に東武庫社会福祉協会が史料館へ寄贈。平成26年2～7月にボランティアが再整理、28年2月に目録の作成が完了した。
9: 史料入手先	東武庫社会福祉協会
10: 点数	909点(目録件数536件)
11: 年代	寛文4年(1664)～昭和27(1952)
12: 構造と内容	<p>本文書群は、①土地、②宗教(須佐男神社関係)、③武庫井・六樋、④町内会等の史料などからなる。</p> <p>①は、近世期の免状のほか、地租改正関連史料がある。②は近代以降社殿等普請に関する史料などがある。③は、用水分水・分配、樋普請、井筋地図の他、六樋合併関連史料がある。④は昭和・大戦期の町内会事務関係史料として、配給、防犯、国民貯蓄に関するものなどがある。</p>
13: 関連史料	なし
14: 閲覧条件	原本
15: 作成者	河野未央 三浦寿代